

電波時計 取扱説明書

(デジタル電子音目覚まし時計)

お買い上げいただきありがとうございます。

お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになった後もお手元保管に、必要に応じてご覧ください。

製造  
販売元

リズム株式会社

〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番地12  
https://www.rhythm.co.jp

CITIZENの商標は、シチズン時計株式会社のライセンスに基づき使用されています。

ご使用の際は、巻末の「**使用上のご注意**」を必ずお読みください

電池は付属しておりません。単3形乾電池を2個用意ください。

各部の名称と役割

◎図は操作説明用ですので、実際のものと異なることがあります。◎リセット ―― 誤作動を防ぐために電池を入れた直後に押す。

(正面)

時刻(時・分・秒)

温度、湿度

注意報表示

日付、曜日

アラーム1時刻 アラーム2時刻

(裏面)

電池の入れかた

(底面部)

電池ふた 開く 閉じる

●1個目の電池は左側に入れてから右に寄せる。

①リセット

②時刻合わせ

③強制受信

④12/24H

⑤注意報モニター

⑥警告スイッチ

⑦アラーム1

⑧アラーム1+

⑨アラーム2

⑩アラーム2+

⑪スヌーズ

◎電池を入れるときは、底面の電池ふたを開閉してください。

△注意 必ず電池を電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて入れてください。指示と逆向きに入ると液漏れ、発熱、破裂の原因になります。

※液晶の表示は見る方向により薄くなった、ムラになったりします。

1 電池を入れて標準電波を受信して日時を合わせる

標準電波を利用しないで、手動で日時を合わせるときには、**(手動での時刻合わせ)**をお読みください。

(裏面操作部)

リセット

時刻合わせ

強制受信

押す

「リセット直後」

「受信開始」

電波受信機能がONのときは、電池をセットしたときやリセットを押したときに電子音が鳴ります。

受信中の受信マークの変化(電波サーチ機能)

電波の状態により変化します。

受信できない

受信しやすい

① ② ③ ④

①1～2分経過しても①や②の状態が続く場合は受信できません。場所を変えてリセットボタンを押して再度受信を開始させてください。

受信終了まで最長20分待つ

(表示例)

受信成功

受信マークが点灯

受信失敗

受信マークが消灯

正しい日時を表示。 日時は正しくありません。

電波を受信しやすい窓際に置いてください。

●単3形乾電池を2個入れる

●爪楊枝などでリセットボタンを押す

受信マークが点滅し受信を開始します。

受信中はボタンに触れないでください。

●20分後に受信結果を確認する

受信は最長で20分行います。受信マークが点灯していれば受信に成功しています。

●受信マークは受信成功後、24～25時間点灯。

●受信が成功しても、電気的なノイズにより誤った日時を表示することがあります。このようなときは、場所を変えてリセットボタンを押して再度受信を試みてください。

●電波の受信中に+または-ボタンを押すか、時刻合わせボタンを約2秒間押し続けると、受信を中止して受信マークが消灯します。

標準電波を受信できない場合

- 朝までそのままにしておく
- 一般的に、夜間には電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておく
- と受信できる可能性が高くなります。
- 場所を変える／受信をやり直す
- ペラントや電波の受信しやすい窓ざで取扱説明書の日本地図を参考に、電波の送信所に時計と受信できる可能性が高くなります。
- 場所を変えて裏面が向くように置き直し、リセットボタンを押して結果を確認します。

標準電波を受信できないときには、手動で日時を合わせてご使用ください。

手動での時刻合わせ

操作例に従って、西暦年、月、日、時刻(時、分)の順に設定してください。

年、月、日、時刻(時・分)でのボタン操作

数値を+または-ボタンで合わせてから時刻合わせボタンを押します。

ボタンを押すすぐ離す

押す続ける

1つ進む

1つ戻る

1つ早送り

1つ戻す

早戻し

アラーム1と2の+/-ボタンが使用できます。

リセット

時刻合わせ

時刻合わせボタン

●約30秒間ボタン操作を中断すると、表示されている内容で設定を終わります。

●アラーム時刻またはアラームマークが点滅しているときは、日時の設定はできません。

●標準電波を受信できないときの時間精度は、クォーツ精度になります。

操作例

2018年12月25日 午前10:37に合わせる

設定する対象の数値

①西暦年が点滅するまでが点滅します。

時刻合わせボタンを約2秒間押し続ける

②年を合わせる

③月を合わせる

④日を合わせる

⑤時を合わせる

12時間表示のときはAM(午前)/PM(午後)表示に注意してください。

⑥分を合わせる

時、分のとときに+または-ボタンを押すときか00になります。

以上で設定は終わります。

電波受信機能のON/OFF操作

受信機能 OFF (時刻を標準電波で修正しない)

リセットボタンを約1秒間押し続けてください。

○OFFになるとリセットボタンまたは強制受信ボタンを押しても受信マークを表示しません。

○日時は手動で合わせてください。

※電池を抜いて回路内に電荷がなくなると受信機能がONになります。

※受信機能がONの場合、手動で日時を合わせても受信に成功すると日時を修正します。

※操作のタイミングによっては、ON/OFFが切り替わらないことがあります。このようなときには操作を繰り返してください。

受信機能 ON (有効にして受信を開始する)

アラーム1または2の-ボタンを押しながら、リセットボタンを押すとアラームマークが点滅します。その後、-ボタンを離します。

標準電波を定期的に受信して標準時に合わせます。

2 アラーム機能を使う

アラーム1と2、2つのアラーム機能を設定して使用することができます。

○アラームが鳴っているときに、もう一方のアラーム時刻になったときは、後からアラームがスヌーズとオートストップ機能の対象になります。

○アラーム時刻やアラームのON/OFFの操作は、アラーム1、2それぞれの+/-ボタンやアラームスイッチで設定してください。

※下記はアラーム1の操作例です。アラーム2の操作手順も同じです。

※アラーム状態(アラームが鳴っている、アラームマークが点滅している)のときはアラーム時刻を設定することはできません。アラーム1と2のアラームスイッチをOFFにしてから操作してください。

■アラーム時刻を合わせる

①アラームスイッチをOFFにする

②+または-ボタンを押してすぐ離す

アラーム時刻が点滅します。

③+または-ボタンでアラーム時刻を合わせる

ボタンを押すすぐ離す

押す続ける

1分進む

1分戻る

1分早送り

1分戻す

④約5秒間ボタン操作をしないと設定を終わる

設定が終わるとアラーム時刻は点滅からアラーム時刻に変わります。

■アラームのON/OFF設定

ONにするとアラームマークが点滅します。

(アラーム1のスイッチ)

アラーム1 ON

鳴らす

止める

鳴らさない

アラームマーク

アラーム音の試験

アラームスイッチをOFFにして、アラーム時刻を現在時刻より1～2分先の時刻に設定してからアラームスイッチをONにしてください。

オートストップ機能(自動鳴り止め)

鳴っているアラームを放置すると約2分で止まります。

アラームご使用上の注意

アラームスイッチをOFFにしない毎日アラームが鳴ります。使用しないときは必ずOFFにしてください。

時刻表示形式の切り替え

12H/24Hボタンを押すと表示形式が変わります。

12時間表示

24時間表示

午前/午後表示あり (00:00 00～23:59 59)

電波の受信中、アラームや日時の設定中、アラーム状態のときは表示形式を切り替えることができません。

温度・湿度、注意報(インフルエンザ／熱中症)の表示

注意報は発生の有無を断定するものではありません。空調・体温管理などの目安としてお使いください。また、公的機関から発表される「注意」や「警報」とは一致しないことがあります。

●直射日光が当たる場所や暖房機器、除湿機、加湿器のそばでは、これらの影響を受けやすくなります。

●設置する高さによっても温度、湿度が変わります。

●湿度は「空気のかたまり」として移動するため、同じ室内でも風通しの良い所と悪い所では違いがあります。

●センサーが本体内部にあるため、表示に反映するまでには時間がかかります。

●測定は1分間隔で行います。

●電波の受信中は、温度湿度の測定と音や光による警告を行いません。

温度／湿度が測定できないときの表示

温度 [HHH] 50℃より高温 [LLL] -9.9℃より低温

湿度 [RH] 95%RHを超えている [LL] 20%RH未満 [--] 測定不能(温度が5～50℃の範囲外)

注意報の表示 (環境の目安表示)

インフルエンザや熱中症が発生しやすい条件になると対応したマークが点滅表示します。

注意報がないときの表示

インフルエンザマーク

熱中症マーク

注意すべき度合いに応じたマークが表示されます。裏面(熱中症の予防について)参照

光、音による警告について(警告スイッチ)

(注意報) 警告スイッチを「光」または「光&音」にすると、注意報の状態に応じて定期的に15秒間、音や光(照明)でお知らせします。OFFにするとき音や光での警告をしません。

◎事前にモニター機能で表示や警告がどのように変わるか確認してください。

◎音や光の明るさの調節、暗くすると自動停止する機能はありません。

インフルエンザマーク点滅:5分間隔でお知らせします。

熱中症マーク点滅:注意すべき度合いにより鳴りかたや光りかたが変化。5分間隔でお知らせします。

※注意すべき度合いが「注意」のときは、音や光ではお知らせしません。

※注意すべき度合いが変わるときにもお知らせします。

※電波の受信中は、音や光の警告を行いません。

注意報の表示と音や光による警告のしかたを確認する

(注意報) 注意報モニターボタンを押し続けることと警報、厳重警報、危険、インフルエンザと表示が変わり、それに対応した音と光による警告をします。注意報モニターボタンを離すと止まります。

※電波の受信中、アラームや日時の設定中、アラーム状態のときは使用できません。

設置場所について

注意

一般的な家庭やオフィスの室内用です。粉じんが多い所、水がかかるところ、結露する所では使用しないでください。故障や誤作動の原因になります。

電池の交換について 早めに交換して液漏れを防ぎましょう

注意

電池からの液漏れにより、時計の修理や家具などの修繕に費用が発生することがあります。電池の交換は、速やかに電池を交換するか、電池を取り出す。

●古い電池と新しい電池、種類の異なる電池を混ぜて使わない。

●電池の⊕⊖を指定と逆向きに入れない。

●動いても1年に1回定期的に交換する。

熱中症の予防について

- ❗ 膜破を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かない  
万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。
- ❗ 電池の液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る
  - ❗ 電池に傷をつけない。
  - ❗ 梱包用のポリ袋をかぶらない  
窒息する恐れがあります。
  - ❗ 電池の液漏れが起きたときは、素手でさわらない
- 目や皮膚に付いたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療を受けてください。衣服に付着した場合は、流水でよく洗い流す。

(28～31℃は 28℃以上31℃未満の意味)

上記のWBGTの温度範囲に、測定した温度を直接当てはめることはできません。

WBGT(温度) (暑さ指数) は熱中症予防のための指標で、気温、気流、湿度、輻射熱の4要素の組み合わせによる過熱環境を総合的に評価したものです。本製品のWBGTは温度と湿度からの推定値を使用しています。

注意すべき生活活動強度の目安

日本気象学会(2013) 日常生活における熱中症予防指針Ver.3より

| 軽い(3.0 METs 未満)                                                                     | 中等度(3.0-6.5 METs)                                                                    | 強い(6.5 METs 以上)                                                                |                                                                                                              |
|-------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 休息・会話<br>食事・料理(炊き付け)<br>洗濯・掃除<br>軽い運動(ジョギング)<br>自転車(軽便車)<br>机上事務<br>車中(バス/バス)<br>洗濯 | 手洗い・洗顔・歯磨き<br>炊事(料理・炊き付け)<br>買い物<br>掃除(電気掃除機)<br>自転車(軽便車)<br>机上事務<br>車中(バス/バス)<br>洗濯 | 自転車(16km/時未満)<br>庭の草むしり<br>芝刈り<br>作業(107m/分)<br>美容・体操<br>ジャズダンス<br>ゴルフ等<br>野球等 | ジョギング<br>登山<br>剣道<br>テニス<br>水泳<br>自転車(速車20km/時)<br>リズム体操<br>縄跳び<br>エアロビクス<br>ランニング(134m/分)<br>マラソン<br>バドミントン |

※野球やゴルフ、グレートボールは活動強度は低い(運動時間が長い)ので要注意。

◎METs(メッツ)は身体活動の「強さ」を表す単位です。安静時に対して荷物の身体活動に相当するものを「6.5METs」のように表します。

ひとくちメモ

熱中症

高温環境下で、体内の水分や塩分などのバランスが崩れたり、体内の調整機能が破綻するなどを起こし、発症の障害の総称です。気温、気流、湿度、輻射熱の状態によっては、屋内外を問わず発生しやすくなります。こまめな水分補給、室温の調節、風通しをよくするなど体温の上昇を防ぐ必要があります。

インフルエンザ

湿度が低いとインフルエンザウィルスの生存率を高めるとともに、鼻・喉・気管などにある粘膜の繊毛の働きを弱め、ウイルスによる感染が起こりやすくなります。

室内の湿度を調節したり、マスクを着用するなど対策が必要になります。

用途について

- この製品は医療や業務用として開発したものではありません。
- 注意報は、測定条件によって大きく変化します。あくまでも目安としてお使いください。
- 本製品は、温度・湿度の証明など商取引に使用することはできません。

静電気の影響について

静電気の影響により、正常に機能しなくなることがあります。このようなときはリセットボタンを押してください。

お手入れについて

- 汚れたときには、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、乾かしてください。
- ケースなどの汚れ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。

電池・製品の廃棄

- お住まいの自治体の指定に従ってください。
- 製品の廃棄するときは、電池と本体を分別して、使用済みの電池はゼロハントープなどで絶縁してください。

おもな製品仕様

|          |                                                         |         |                   |
|----------|---------------------------------------------------------|---------|-------------------|
| 使用温度範囲   | -10～50℃※結露しないこと                                         | アラーム機能  | 設定した時刻にアラームを鳴らす   |
| 液晶表示可読温度 | 0～40℃                                                   | アラーム機能  | 表示時刻に対して±0秒       |
| 時間精度     | 電波を受信成功直後の表示 約±1秒                                       | アラーム音   | 電子音               |
|          | 標準電波を受信しない場合 平均月差±30秒(5～35℃のときクォーツ機)                    | スヌーズ    | アラーム音が約5分間の一時停止   |
| 使用電池     | 単3形マンガン乾電池(ISO規格R6P 1.5V 2個)<br>※単3形アルカリ乾電池を使用することができます | オートストップ | アラーム音が連続2分間で自動停止  |
| 電池寿命     | 約1年 アラームを30秒鳴らし、照明を5秒点灯した場合(1日当たり) ①                    | 時刻表示形式  | 12時間/24時間 選択式     |
| 電池交換時期   | なし                                                      | 照明      | 液晶表示部をLEDで照明      |
| お知らせ機能   | 標準電波受信により自動時刻修正                                         | 温度      | 表示範囲 -9.9～50℃     |
| 受信周波数    | 40MHz                                                   | 湿度      | 表示範囲 20～95%RH ②   |
| 受信周波数    | 40MHz                                                   | 湿度の精度   | ±10%RH (表示範囲において) |
| 受信周波数    | 40MHz                                                   | 湿度測定間隔  | 1分間隔              |

(注) 電池寿命は音や光の警告を停止させたときのもので、音や光での警告を使用した場合、警告の頻度が高くなると電池寿命が短くなります。

(注2) %RHは相対湿度の表しです。天気予報など一般的には「%」で表示されています。

※液晶はその特性上、O.D.になる表示反応が遅くなったり、表示が薄くなることがあります。

40℃以上になると表示が薄くなったり、ムラに見えることがあります。

※液晶表示板は5年を過ぎると、コントラストが低下して数字が読みにくくなる場合があります。

※表記の電池寿命は、新たに「おもな製品仕様」の使用電池に交換した場合に適用となります。

※製品仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

付属品 保証書 1枚

安全にお使いいただくためにはじめにお読みください

ここに示した注意事項は、あなたや他人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

図記号の説明

○は、禁止(してはいけないこと)を示しています。

●は、指示する行為を必ず守ることを示しています。

警告

死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

誤作動を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かない

万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

電池の液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る

●電池を傷をつけない。

●電池を分解しない。

●電池をショートさせない。

●電池を充電しない。

●電池を加熱しない。

●電池を火の中に入れない。

梱包用のポリ袋をかぶらない

窒息する恐れがあります。

電池の液漏れが起きたときは、素手でさわらない

●目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療を受けてください。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。

●アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。

●電池を外して漏れた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なき場合は、お買い上げの販売店または当社総合サポートにお問い合わせください。

注意

傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容

電池の⊕⊖を正しく入れる

液漏れや発熱の原因となり、けがや故障の原因になります。

強い振動や衝撃を与えない

故障や破損の原因になります。

浴室やサウナ、温室など、高温・高温になる所では使わない

さびや故障の原因になります。

ぬれた手でさわらない

さびや故障の原因になります。

分解や改造をしない

けがや故障の原因になります。

液漏れから漏れた液に素手でさわらない

破損で漏れた液には絶対にふれないでください。万一、手などに付着した場合は、すぐに石けんで洗い流してください。

下記の様な場所では使わない

性能の低下や部材の変形、変色、劣化、故障の原因になります。

- 直射日光が当たる所。
- 暖房機器からの風が当たる所。
- 温度が-10℃以下または+50℃以上の所。
- 火気のそば。●ほこりが多く発生する所。
- 強い磁気を発生させる機器のそば。
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- プール、温泉場など、塩素の発生する所。
- 調理場など多くの油を使用する所。
- ゴムや軟質のポリ袋とビニールに長い間、直接ふれさせておくこと、色移りや付着、変質することがあります。

電池のご注意 (電池の正しい使いかた)

電池のご使用上のポイント 正しく使って事故をなくしましょう

- プラス(+)、マイナス(-)を間違えない。
- 長期間使用しないときは電池を取り外す。
- 電池に表示されている使用推奨期間内に使う。
- 古い電池と新しい電池を混ぜない。
- 時計が動いても定期的に交換する。
- 時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
- 幼児の手が届かない所に置く。
- 種類の異なる電池を混ぜない。

●アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。

●一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。

●一部の電池は、形状的に本製品には不向きな場合があります。

(例) Panasonic EVOLTA(エボルタ)乾電池) ※EVOLTAは、パナソニック株式会社の登録商標です。

●電池の寿命について

●温度などの使用条件により、電池寿命が製品仕様より短くなることがあります。

電波時計について

電波時計とは

クォーツ時計に標準電波を受信する機能を搭載し、標準電波を受信することにより、自動的に正確な時刻に修正する時計です。

標準電波の送信所は、福島県の「福島局：おたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はが山標準電波送信所」の2カ所にあります。

電波の受信範囲について

送信局から約1200km離れた場所でも受信可能です。

ただし、受信範囲があっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼/夜)あるいは地形や建物)の影響などにより、受信できない場合があります。

●標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。(https://jiy.nict.go.jp)

※アドレスは変更になる場合があります。

この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

標準電波の送信停止について

送信局の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波を受信できません。海外で使用する場合は、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準電波を表示したり、ノイズにより誤った時刻を表示することがあります。海外でご利用になるときには、電波受信機能をOFFにして手動で時刻を合わせてお使いください。

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、当社総合サポートにお問い合わせください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

- 修理部品の保有について
- 電子回路や歯車などの修理用性能部品は製造打ち切り後、7年を基準に保有しています。ただし、ケースなどの外装部品の修理には、類似代替品の使用や現品交換で対応させていただきますことがあります。
- 修理可能期間について
- 無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料での修理が可能です。ただし、修理内容や送料などにより修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

この製品のサービスおよび技術サポートは日本国内でのみ利用可能です。

Service and technical support for this product are available only within Japan.

お問い合わせ先

リズム総合サポート

https://rhythm.jp/support/

商品照会の際は、製品裏面または底面に表示してある製品番号(型番)をご確認ください。

例. 4MY000.4MYA00.8MY000.8MYA00

お客様相談室:0120-557-005 受付時間 9:00～17:00(土日、祝日および当社休日を除く)

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いかねますのでご了承ください。